

2003 年度 委員会活動成果報告

(年 月 日作成)

委員会名	光環境デザイン WG	主 査 名：中村芳樹
所属本委員会 (所属運営委員会)	光環境小委員会	委員長名：井上容子
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	光に興味を持つ建築家と光環境研究者が、それぞれ別々に体系立ててきた知見を総合的にまとめ上げることを最終目標に、光に興味を持ち、光をデザインに積極的に取り込んでいる建築家を取り上げ、具体的な設計手法と光環境研究との関係を議論し、その結果を報告するシンポジウムを計画する。	
委員構成 (委員名(所属))	石井大五(フューチャースケープ建築設計事務所) 井上容子(奈良女子大) 岩田利枝(東海大) 上谷芳昭(京都大学) 遠藤 和広((有)イオス設備工房) 小栗克巳、内田伸(石川高専) 小泉隆(九州産業大学) 佐藤勉(佐藤勉設計事務所) 野澤壽江((株)近田玲子デザイン事務所) 鈴木 広隆(大阪市立大学) 松下 進(松下進建築・照明設計室) 吉澤 望(東京理科大学)	
設置 WG (WG 名:目的)		
2003 年度予算	35,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	メールにて、シンポジウム準備のための意見交換、及び光環境デザインキーワードの整理を随時行った。シンポジウム開催後は、次回のデザイナーと環境工学研究者の交流シンポジウムを目指して、委員会を 2 回開催した。 第 1 回 2003/11/26・8 名 第 2 回 2004/3/220・7 名+オブザーバ 5 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) メール会議を頻繁に開催することで、光環境デザインのキーワードの整理を行えた。また 11 月 26 日には、建築界にて頻繁に発言されている二川幸夫氏を講師としてシンポジウムを開催し、120 名の出席者があった。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) シンポジウムは、光に興味のある建築家、学生に影響力の高い二川幸夫氏に講演をお願いすることができ意見を交換できたことは、当初目標としたシンポジウムの目的と合致し、大きな成果であった。また、メール会議を通じて整理したキーワードは、今後の出版物への展開の可能性を含み、大きな成果であると評価できる。
その他評価すべき事項	